

文化的な体験から（第13回タイフェスティバル in 東京）

今回は視点を換え、タイの文化的な体験をできる機会があったため、そのイベントを紹介します。

今年で13回目を迎えるタイフェスティバルは、毎年5月に東京の代々木公園で開催されています。※昨年は震災の影響もあり10月に開催。



タイには、毎年、100万人以上の日本人の入国者があり、ビジネス、観光の両面で身近に感じられる国ですが、タイフェスティバルには、毎年、2日間で30万人以上の来場者があると言われています。毎週会場である代々木公園周辺では様々なイベントが開催されていますが、タイフェスティバルは代々木公園で開催されるイベントの中でも、かなり集客力のあるイベントとなっています。

来場者は比較的若い世代と家族の来場者が多く見受けられます。タイには多くの日系企業が進出済みであることをこれまでのレポートでも触れていますが、家族連れの中には過去にタイに駐在された経験を持つ方々なども多く、また、若い世代はタイへのプライベート旅行やタイ料理などでタイを身近に感じる日本人が増えてきているものと思われます。

日本でも、特に東京では多くのタイ料理店があり、今回のイベントでも80店以上が会場でブースを設けていました。

このように、日本国内ではタイ料理店は今や至る所にありますが、逆にバンコクでも多くの日本食レストランが営業しており、ここ数年、日系外食チェーン店の進出は勢いを増しています。



<<弊社独自調査 (2011年12月現在) >>

◇総合

- ・大戸屋 2005年～ 店舗数：約30店舗
2011年に株式をセントラルレストランに売却

◇ラーメン屋

- ・山小屋 2006年～ 店舗数：10店舗
- ・ラーメンチャンピオン 2010年～ 店舗数：6店舗
- ・幸楽苑 2012年～
- ・九州ラーメン亀王 2012年～

◇寿司屋

- ・平禄寿司 2007年～ 店舗数：5店舗

◇ファーストフード

- ・モスバーガー 2007年～ 店舗数：7店舗

◇カレー屋

- ・COCO 壱番屋 2008年～ 店舗数：16店舗

◇とんかつ屋

- ・新宿さぼてん 2008年～ 店舗数：3店舗

◇うどん屋

- ・家族亭 2011年～ 店舗数：9店舗
- ・横井うどん 2011年～ 店舗数：1店舗
- ・丸亀製麺 2012年～ 店舗数：2店舗

◇牛丼屋

- ・すき屋 2011年～ 店舗数：4店舗

◇セントラル レストラン グループ

- ・吉野家 2011年～ 店舗数：3店舗
- ・ペッパーランチ 2007年～ 店舗数：5店舗
- ・ちゃぶ屋 2010年～ 店舗数：5店舗
- ・大戸屋 2005年～ 店舗数：約30店舗

また、タイフェスティバル会場では、音楽などのイベントもあり、タイでは絶大な人気を誇るアーティストグループが登場しましたが、日本での知名度が低いこともあり、タイ人は熱狂し、日本人は静かに聴いているという奇妙な光景でした。これは、日本のメディアの影響が多分に反映されているかと思いますが、韓流に代表されるように、芸能分野でタレントやアーティストがテレビや雑誌などで取り上げられる頻度が高ければ知名度も上がるため、そこからそのタレントやアーティストの出身国に興味を湧くきっかけになりやすいですが、残念ながら、T-POP（タイ・ポップ）はまだ日本のメディアに多く取り上げられていないこともあり、日本人への認知度はまだまだ低いようです。



今回、イベントを通じて、多くのタイ料理店が日本で営業を行っていることに改めて気付かされました。一方で、上述した日本料理店のタイ進出企業一覧のとおり、日本からタイへもファーストフードを含めた日本食関連の企業が多く進出し、営業を行っています。タイ人の外国料理への興味・感心を考えてみると日本食の人気は高く、今後もこのような事業は増えていくものと思われます。

しかし、同一店でも日本国内と同じような味・サービスを提供するというのではなく、価格はタイの物価を考慮した価格設定、また嗜好は私たち日本人とは違うということを理解した上で、営業/経営を行うことが大前提であると思います。

食は、海外生活をしていく上でも非常に重要なものであり、タイで生活する日本人が安心する要素の一つが多く日本の料理店がタイで営業をしている点であると思います。

日本で生活をしている環境とほぼ変わらない生活を営むことができるタイでは、そういった意味で、ビジネスマンが仕事に集中できる環境が整っており、今後もタイに出張などで訪問する機会がある方にとっては安心できる国であると思われます。

【岡山県タイビジネスサポートデスク】

<<日本国内デスク (株式会社アークビジネスサーチ内) >>

【所在地】：東京都千代田区神田小川町 1-11-8 大竹ビル7階

【担当者】：志賀 敦 (しが あつし)

<<タイ/バンコク現地デスク (ARK ENTERPRISE CO., LTD. 内) >>

【所在地】：138 Boonmitr Bldg., 3rd Floor, Rm. A2, Silom Rd., Suriyawong, Bangrak
Bangkok, 10500 Thailand

【担当者】：福田 淳 (ふくだ じゅん)

※デスクのご利用にあたっては、まず岡山県産業企画課(086-226-7365)へご相談ください。